

筑波大学 STEAMリーダーシッププログラム

第3期『課題創造学』講座

～課題解決の実践およびシーズや文化への理解～

Science

Technology

S T E A M

Leadership Program

Engineering

Art

Mathematics



筑波大学
University of Tsukuba



筑波大学長

永田 恭介

NAGATA Kyosuke

専門分野は分子生物学、1993年日本ウイルス学会杉浦奨励賞を受賞。本賞は、ウイルス学における顕著な研究業績をあげた若手研究者を対象とした賞。

Find a worthy problem

価値ある問題を見つけよう

筑波大学STEAM リーダーシッププログラム とは

筑波大学は、知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開する研究型総合大学として、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野において、深い専門性を追求すると同時に、既存の学問分野の垣根を越えた協働を必要とする領域の開拓に積極的に取り組み、国際的に卓越した教育や研究を実現することを目指しています。

また本学は、多くの国立・民間研究機関が集積する筑波研究学園都市という立地を活かして、開学より一貫して産官学連携による課題発見と解決に尽力してきました。

その筑波大学・筑波研究学園都市発の高度で先駆的な研究・教育等の成果の集大成を、いち早く社会に還元することを目的として実施するのが筑波大学STEAMリーダーシッププログラムです。

なお、本プログラムは筑波大学エクステンションプログラムの一つです。



筑波大学 准教授

落合 陽一

OCHIAI Yoichi

2010年にスーパークリエイター/天才プログラマー認定、2013年マニフェスト大賞審査員特別賞、2015年Asia Digital Art Award優秀賞など各種多数の賞を受賞。

NAGATA Kyosuke

OCHIAI Yoichi



本プログラムは、筑波大学及び筑波研究学園都市などの産官学各分野のリーダー講師陣による【講義】と【グループワーク】の2部構成で各回実施します。【講義】では、課題創造の実践及びシーズや文化への理解、スポーツと文化、メディア芸術、機械学習、エンジニアリングと経営などの毎回異なるトピックに焦点を当て、各リーダー講師から本プログラムでしか聞けない事例・シーズ等の講義を行い、新しい視点と発想に基づいた課題の提起を行います。【グループワーク】では講義内容を題材として講師と受講者が自由討議することにより従来の産官学各分野の縦割り構造を越えた横断的思考形成を図ります。

さらに、同窓会組織として「NEXTEAM (ネクスティーム)」^{※1}を結成し、講座修了後の活動展開の試みとして各種イベントや研究会・講演会の開催、同窓会会報「NEXTEAMマガジン」^{※1}の発行などを同窓会が自主的に企画・実施しています。

また、修了生はモデレータとして修了後もプログラムに参画することにより、変化を続けるSTEAM^{※2}の展開に関わることができます。

※1 名称変更になる場合もございます。予めご了承ください。

※2 Science, Technology, Engineering, Art and Mathematics

第1回 8/30 (火)

金保 安則

KANAHO Yasunori

筑波大学副学長理事(産学連携担当)
国際産学連携本部長



京都薬科大学薬学研究科博士課程修了。薬学博士。
米国NIH、コネチカット州立大学、SmithKline & French 研究所などの研究員を経て、東京工業大学 助教授、東京都臨床医学総合研究所 部長、筑波大学教授 現在に至る。
2005年に文部科学省特定領域研究に採択。初代の筑波大学高細精医療イノベーションコア長。日本細胞生物学会、日本生化学会に所属。

*この日はオリエンテーション

魅力的な講師陣による講座

本プログラムは、有名講師陣による講義と最新分野を俯瞰できるグループワークから成り、組織を成功に導くための戦略的マネジメントの実践聴講と講師と受講者という通常の関係を超えた自由な討議が特徴です。

講座の流れ

講座当日のメイン講師に関する基礎学習は、最新の研究論文や書籍によって情報提供し予習していただきます。

講義は「課題創造」をテーマに、各分野の講師陣が、本プログラムでしか聞けない講義を行います。

60分のグループワークでは、問題定義のスキームや課題創造を繰り返し行います。(講義により宿題やレポートの提出もあります。)

*落合先生が毎回の講義に参加しグループワークを実施します。

募集要項

期間：2022年8月30日(火)～2023年1月29日(日)

(全21日間) 毎週 火曜 18:00～21:00

*第15回は12/9(金) 18:00～21:00

*最終日は1/29(日) 9:00～18:00

オリエンテーション：8月30日(火) 18:00～21:00

休講：12月27日(火)、1月3日(火)

定員：12名程度

受講料：350万円(税込)

講義会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 他

受講対象者：社長候補、経営企画層の若手、

将来的に組織を担う人材などの若手経営幹部

修了証書：プログラムの75%以上を受講した受講生には

筑波大学発行の受講修了証書を授与

第2回 9/6 (火)

松崎 一葉

MATSUZAKI Ichiyo

筑波大学大学院産業精神医学・宇宙医学研究グループ教授・精神科医



筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。(医学博士)精神科医。
JAXA招聘研究員を経て、科学研究費新学術領域研究(宇宙に生きる)研究代表。宇宙飛行士を始めとした、知的労働者のメンタルヘルスマネジメントを専門とし「仕事量を減らす」に組織のメンタルヘルスを向上させるための施策を展開している。官公庁・企業のコンサルタントを務め、内閣官房内閣人事局・財務省・最高裁判所・最高検察庁・警察大学校・防衛省・人事院で系統的講義を行っている。本田技研工業では役員のエグゼクティブコーチングを担当し、DXと多様性推進の支援をしている。著書は「クラッシャー上司」「情けの力」など多数。

第3回 9/13 (火)

綾部 早穂

AYABE Saho

筑波大学人間系 教授



筑波大学第二学群人間学類(心理学専攻)卒。
6年間の高砂香料工業(株)総合研究所勤務を経て、筑波大学大学院人間総合科学研究科に入学、修了。博士(心理学)。
筑波大学心理学系助教、健康科学大学福祉心理学科助教を経て、2005年から2年間米国ヴァージニア州でフィリップモリスUSA感覚研究所上席研究員。2007年筑波大学人間系准教授、2013年教授、現在に至る。

第4回 9/20 (火)

柳沢 正史

YANAGISAWA Masashi

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIS)機構長・教授



筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。(医学博士)
テキサス大学サウスウェスタン医学センター教授とハーワードヒューズ医学研究所研究員を経て、2010年に内閣府最先端研究開発支援プログラムに採択、筑波大学に研究室を開設。
2012年より文部科学省WPIプログラム筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIS)機構長・教授、現在に至る。
米国科学アカデミー正会員。紫綬褒章、慶應医学賞、文化功労者など受賞多数。

第5回 9/27 (火)

西尾 チヅル

NISHIO Chizuru

筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授



博士(工学・東海大学)。
1992年筑波大学専任講師、准教授を経て、2005年より現職。
日本学術会議会員(第一部経営学委員会委員長)。専門はマーケティング、消費者行動、環境コミュニケーション。著書に、『マーケティング・経営戦略の数理』(編著、朝倉書店、2009)、『マーケティングの基礎と潮流』(編著、八千代出版、2007)等がある。日本商業学会副会長、日本マーケティング・サイエンス学会や日本広告学会等の理事の他、中央環境審議会(環境省)や産業構造審議会(経済産業省)等の委員を務める。

第6回 10/4 (火)

佐藤 順一

SATO Junichi

株式会社カクヤスグループ 代表取締役社長



1981年筑波大学第一学群社会学類卒業後、業務用酒類販売店の株式会社カクヤス本店(現株式会社カクヤスグループ)入社。1993年に三代目代表取締役社長に就任。独創的なサービスを展開し、入社当時、年商7億円弱だった同社を年商1000億円以上の上場企業へと成長させた。首都圏中心に店舗をドミナント展開し、「ビール1本から、最短1時間で、送料無料」をキャッチフレーズに酒類等の配達をしている。筑波大学同窓会茗溪会理事、筑波大学資金運用委員会委員。

スケジュール

	開催日		講師
第1回目	8/30 (火)	18:00-21:00	金保 安則
第2回目	9/6 (火)	18:00-21:00	松崎 一葉
第3回目	9/13 (火)	18:00-21:00	綾部 早穂
第4回目	9/20 (火)	18:00-21:00	柳沢 正史
第5回目	9/27 (火)	18:00-21:00	西尾 チヅル
第6回目	10/4 (火)	18:00-21:00	佐藤 順一
第7回目	10/11 (火)	18:00-21:00	坂本 瑞樹
第8回目	10/18 (火)	18:00-21:00	八木 勇治
第9回目	10/25 (火)	18:00-21:00	三谷 純
第10回目	11/1 (火)	18:00-21:00	永田 恭介
第11回目	11/8 (火)	18:00-21:00	岩田 洋夫
第12回目	11/15 (火)	18:00-21:00	佐藤 孝明
第13回目	11/22 (火)	18:00-21:00	重川 秀実
第14回目	11/29 (火)	18:00-21:00	工藤 公康
第15回目	12/9 (金)	18:00-21:00	平山 素子
第16回目	12/13 (火)	18:00-21:00	南山 淳
第17回目	12/20 (火)	18:00-21:00	川口 敦史
第18回目	1/10 (火)	18:00-21:00	伊藤 節
第19回目	1/17 (火)	18:00-21:00	落合 陽一
第20回目	1/24 (火)	18:00-21:00	鈴木 健嗣
第21回目	1/29 (火)	9:00-18:00	ジョン マエダ

講座カリキュラム

18:00	講義 (75分) & 質疑応答 (30分)	講義 75分 各講師が、自身の研究や経験、組織を成功に導くための戦略的マネジメントの実践などを講義
19:45	休憩 (15分)	質疑応答 30分
20:00	グループワーク (60分)	グループワーク 60分 【前半15分】 グループワークにて前半の講義や問題のスキームを議論する 【中盤15分】 グループワークで議論した結果を各グループ発表 【後半20分】 各受講生が問題や課題理解と自身の分野でどう解決するかについて各グループごとに議論 【後半10分】 振り返り (全体に共有すべき議論を討議)
21:00		

第7回 10/11 (火)

坂本 瑞樹

SAKAMOTO Mizuki

筑波大学プラズマ研究センター長・教授



名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程中途退学。理学博士。自然科学研究機構核融合科学研究所、九州大学応用力学研究所を経て筑波大学数理物質系教授、現在に至る。核融合エネルギーの早期実現を目指して核融合科学の基礎研究に従事。核融合エネルギーフォーラム調整委員会委員。2021年より文部科学省核融合科学技術委員会原型炉開発総合戦略タスクフォース主査代理。

第8回 10/18 (火)

八木 勇治

YAGI Yuji

筑波大学 生命環境系 教授



東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。建築研究所研究員、筑波大学准教授を経て、2018年から筑波大学教授。地震予知連絡会委員、国際誌Scientific RepotsやProgress in Earth and Planetary Scienceの編集委員。2011年東北地方太平洋沖地震をきっかけに、マスコミ対応にも力を入れている。2012年～2016年文部科学省特別経費プロジェクト「巨大地震による複合災害の統合的リスクマネジメント」の代表を務める。

第9回 10/25 (火)

三谷 純

MITANI Jun

筑波大学 システム情報系 教授



東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。理化学研究所研究員を経て2005年に筑波大学に着任。2015年より現職。形状モデリングおよび折紙の研究に従事。内閣府総合科学技術・イノベーション会議上席科学技術政策フェロー、令和元年度文化庁文化交流使など歴任。日本折紙学会評議員、日本応用数理学会折紙工学研究部会主査。主な受賞に、マイクロソフトリサーチ日本情報学研究賞がある。

第10回 11/1 (火)

永田 恭介

NAGATA Kyosuke

筑波大学 学長



1976年に東京大学薬学部を卒業し、1981年に同大学博士課程を修了する。2008年には横浜市立大学との共同研究でインフルエンザウイルスの増殖に必要な酵素(RNAポリメラーゼ)の構造を解明し、Nature誌、欧州分子生物学機関誌等に発表した。2013年4月より、筑波大学学長(第9代)を務め現在に至る。現在、国立大学協会会長、大学基準協会会長、文部科学省中央教育審議会大学分科会長、外務省科学技術外交推進会議委員を務める。

第11回 11/8 (火)

岩田 洋夫

IWATA Hiroo

筑波大学 システム情報系 教授



1986年東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。現在筑波大学システム情報系教授。バーチャルリアリティの研究に従事。SIGGRAPHのEmerging Technologiesに1994年より14年間続けて入選。Prix Ars Electronica 1996と2001においてhonorary mentions受賞。2001年文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。2011年文部科学大臣表彰 科学技術賞 受賞。2016年～2019年まで、日本バーチャルリアリティ学会会長。

期待できる成果

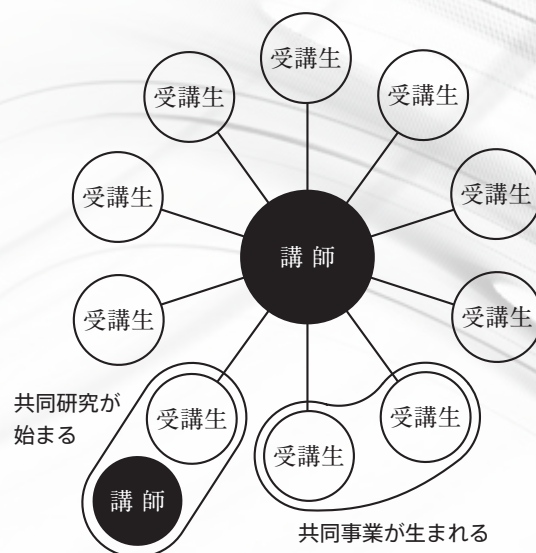
- 経営幹部に必要な思考法、理論、テクノロジーの修得
- 視点を高く、視野を広く俯瞰して眺め考えられる能力（概念化能力）の修得
- コミュニケーション能力や場面適応力の向上
- 先端課題に対するより確かな理解に裏づけられた自己主張と表現における自信の獲得
- 世界水準のマネジメント知識に関する未知の分野・盲点が何であるかのメンタル・マップが描け、また、そのテーマを理解し活用するための方法の獲得
- 異業種の受講者との協働により、気づきと行動変革のきっかけが共有可能となるなど、横の連携の最大限の活用が可能（人的ネットワークの形成）

「筑波大STEAMネットワーク」の活用

最新分野の情報や、専門外の未知の情報などを即座に、今回の講師陣をはじめとする最良の専門家に照会できる

コミュニティの形成

課題創造学講座により誕生するコミュニティでは、未来を担う若手経営幹部や異業種との貴重な経験を継続的に共有できる同窓会組織「NEXTEAM」を立ち上げています。受講後でもこの学びを共有しお互いの情報交換と交流を継続できます。



第12回 11/15 (火)

佐藤 孝明

SATO Tak-Aki

筑波大学 特命教授
プレジジョン・メディスン開発研究センター長



専門分野：分子腫瘍学（医学博士）
米国コロンビア大学分子腫瘍学研究室・助/准教授を経て、筑波大学グローバル教育院での大学院生教育などを歴任する傍ら、国内外で幅広い研究活動を推進。2011年～2014年最先端研究開発支援プログラム（中心研究者：田中耕一）を共同提案。2013年～（株）島津製作所フェロー。2017年～筑波大学プレジジョン・メディスン開発研究センター長・特命教授、現在に至る。

第13回 11/22 (火)

重川 秀実

SHIGEKAWA Hidemi

筑波大学 数理工学系 教授



専門分野：極限計測技術の開拓とナノサイエンスへの応用。走査トンネル顕微鏡法と量子光学の先端技術を融合することで、フェムト秒（1000兆分の1秒）の時間分解能と原子レベルの空間分解能を持つ新しい顕微鏡技術を開発し同分野をリードしてきた。日本表面真空学会会長。2015年文部科学大臣表彰『科学技術賞』、2019年 紫綬褒章。

第14回 11/29 (火)

工藤 公康

KUDO Kimiyasu

元 福岡ソフトバンクホークス 監督



1982年にプロ野球西武ライオンズに入団。以降、ダイエー・巨人・横浜などに在籍。実働29年のプロ野球選手として、通算224勝。2015年からは福岡ソフトバンクホークスの監督に就任し、7年間で5度の日本一を達成。また2020年には監督在任中ながら筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻を修了。2022年より同大学院人間総合科学研究群スポーツ医学学位プログラムに進学し、子どもたちの検診や障害予防について研究を行う。

第15回 12/9 (金)

平山 素子

HIRAYAMA Motoko

筑波大学 体育系 准教授



筑波大学大学院体育研究科修了。ダンサー・振付家としても積極的に活躍。これまで新国立劇場などで独自性かつ洗練度高い作品を多数創作。2009年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。「身体にまつわる現象」としてのダンスを日々研究中。フィギュアスケートやアーティスティックスイミングの日本代表選手の演技指導も手掛ける。

第16回 12/13 (火)

南山 淳

MINAMIYAMA Atsushi

筑波大学 人文社会系 准教授



筑波大学大学院社会科学研究科 博士課程 単位取得退学。博士（法学）。日本学術振興会特別研究員、筑波大学人文社会科学研究科講師を経て、現在、同 人文社会系 准教授。専門は国際政治学、特に国際政治理論、国際安全保障論。主な研究テーマは、グローバル化が安全保障政治に与えるインパクト。著書として『批判的安全保障論』（共著、法律文化社）2022年等がある。

修了生からのメッセージ



伊藤 俊一郎 (1期生)

株式会社 AGRI CARE 代表取締役・メダグリクリニック所長

350万円のもとを取ろうとは思わないで・・・。

受講前はアウトプット過多になって中身がスカスカになっていました。そんな時、友人からのSNSで母校が高額な講座を開催している情報を知り応募しました。

毎回、違う分野の講師陣が講義を行ってくれる事が魅力的で、かつ集中力のない私でも最後まで講座に付き合えました。自分の内なる学術的欲望に準じている研究者が多いことに気づきました。

今でも先生や同期生たちとはコンタクトをとっています。学びたい時期は、植物が水を必要するときと似ています。だから植物も育ち私も成長できたのだと思っています。

自分の道を見つけようとしている人に来てほしい

当時、27歳、博報堂に勤務し自分で課題を見つけて進むには…と、考えるだけで行動までいけずすぶっていました。この講座は一流の講師陣が講義をし、当時の自分では出会えない人に会えるのと、自分の道を見つけられるのであれば350万円の受講料も活かせると思いました。1期は8名の受講生でしたが、講師を独占したような圧を感じ、生々しいほどの体験に基づく話が聴けて、自分のテーマやビジョンの広げ方や課題の作り方を学びました。

その後、酒造りをしている家業に入り、原料を活用した総合アルコールカンパニーとして新しい事業を展開することも、STEAMに影響されての行動だと思います。

自分の心の奥底で「独自の道を見つけない」と考えている人には是非勧めたいです。



加藤 喬大 (1期生)

明利酒類株式会社 常務取締役

新しい知識やスキル、価値観を掴みとる、学びたい時がチャンスです！

第17回 12/20 (火)

川口 敦史

KAWAGUCHI Atsushi

筑波大学 医学医療系 教授



2007年に筑波大学大学院人間総合科学研究科修了、博士(医学)。日本学術振興会特別研究員PD、同Superlative PDを経て、2012年に筑波大学医学医療系に着任、2020年より教授、2021年より学長補佐、現在に至る。専門は、新興ウイルス感染症の分子生物学。特に病原体と宿主の相互作用に着目した研究を進めている。2016年日本ウイルス学会杉浦奨励賞受賞。

第18回 1/10 (火)

伊藤 節

ITO Setsu

筑波大学 芸術系 教授



筑波大学大学院芸術研究科修了後ミラノに渡り、1995年デザイン事務所設立。プロダクトからインテリア、建築まで多岐にわたるデザインを総合的に行う。世界各国で作品を発表し、ゴールドマンコンパス賞(伊)、レッドドット賞(独)、グッドデザイン賞(米)他多くの国際デザイン賞を受賞。作品はミュンヘンとミラノの近代美術館に永久保存されている。多くの有名デザイン校で教鞭をとり、現在はミラノ工科大学契約教授、筑波大学教授、東京大学先端研特任教授を勤める。

第19回 1/17 (火)

落合 陽一

OCHIAI Yoichi

筑波大学 図書館情報メディア系准教授



筑波大学でメディア芸術を学び、東京大学大学院学際情報学府にて博士号取得。応用物理、計算機科学、研究を行い、研究論文は難関国際会議SIGGRAPHなどに複数採択。現在、筑波大学図書館情報メディア系准教授・センター長/Pixie Dust Technologies, Inc. CEO。2025年大阪・関西万博のプロデューサーとして活躍中。

第20回 1/24 (火)

鈴木 健嗣

SUZUKI Kenji

筑波大学 システム情報系 教授
サイバニクス研究センター長



早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻修了。博士(工学)。早稲田大学助手、筑波大学講師、准教授、および伊ジェノヴァ大学、仏コレージュ・フランス客員研究員を経て、2016年筑波大学教授。専門は人工知能、サイバニクス他。サイバニクス研究センター長、附属病院未来医工融合研究センター副部長。2019年より米国IEEEロボティクス・自動制御部門理事。2021年つくば市顧問・スーパーシティ構想アーキテクト。

第21回 1/29 (日)

ジョン マエダ

John Maeda

Everbridge CTO.
Graphic designer.



American technologist and product experience leader with a passion for RESILIENCE and renewal. Currently serving as chief technology officer of Everbridge. Formerly Sonos board of directors, Wieden+Kennedy board of directors, Kleiner Perkins partner, MIT Media Lab data visualization lead, Publicis Sapient executive vice president and chief experience officer, Automatic head of design+inclusion, and 16th president/ceo of the Rhode Island School of Design (RISD).



YouTube



[お問い合わせ・お申し込み]

筑波大学 エクステンションプログラム事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 高細精医療イノベーション棟1F

Tel: 029-859-1648 (受付時間: 月~金 9:30~17:00)

お問い合わせはこちらから ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp

申し込み

【提出物】 申込書、小論文、組織長からの推薦書、(秘密保持契約書はオリエンテーション時記入)

お申し込みはHPにて <http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

